

さとやま整備活用促進事業

ちばの里山 1 日体験会「鹿野山で下草刈り体験とミツバチ養蜂見学」実施報告書

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちばの里山 1 日体験会「鹿野山で下草刈り体験とミツバチ養蜂見学」
日時	令和元年 7 月 21 日（日） 8：30～17：00
会場	FIC の森、内山緑地建設株式会社さんぼ道
出席者	講師 4 名 参加者 25 名 スタッフ 7 名（内山緑地建設株式会社 1 名、千葉県職員 2 名、ちば里山センター 4 名） 計 36 名
内容	<p>8:30～ 千葉駅 NTT 前バス出発～市原パーキング～現地 10：00 到着</p> <p>10:00～10:20 日程説明 内山緑地建設株式会社芝生広場 FIC の森説明～移動</p> <p>10:30～12:00 里山体験：大鎌による下草刈り 里山体験：バイオネスト作成</p> <p>12:10～13:20 内山緑地建設株式会社へ移動 昼食 内山緑地建設株式会社会議室</p> <p>13:20～13:50 講義：養蜂について 講師：養蜂家 鈴木 一 氏</p> <p>14:00～15:00 「きみつのさんぼ道」と養蜂作業所 観察 きみつのさんぼ道 A、きみつのさんぼ道 B、ミツバチ養蜂作業所</p> <p>15:00～15:20 ふりかえり、アンケート記入 内山緑地建設株式会社会議室</p> <p>15:30～ 現地バス出発～千葉駅 NTT 前バス 17：00 到着</p>
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10：00 内山緑地建設株式会社芝生広場に集合した参加者を前に、千葉県森林課の主催者あいさつ、内山緑地建設株式会社榎崎所長からの歓迎の挨拶の後、スケジュール説明を行い、講師・スタッフを紹介した。その後バスで FIC の森へ移動した。 ・ 大鎌による下刈り作業体験とバイオネスト作り 参加者は 8～9 人ずつ 3 班に分かれ、大鎌の扱い方、作業の方法、刃の研ぎ方を現地体験した。下刈りの初心者がほとんどで 1 人 5 分の大鎌下草刈りを終わると汗だくになった。 大鎌研ぎでは、荒砥と仕上げ砥を当てた時に出る音の違いに納得し、試し切りの感覚で、その研ぎ具合を実感しているようだった。 バイオネスト作りでは、穴掘りとくい打ちを体験し、刈り払った枝と草を集めバイオネストを完成させていた。 ・ 鈴木講師は養蜂家としてミツバチの世界を解説した。 ミツバチは人間社会に比べ、はるかに高度な社会性を持っている。同種類の植物を蜜源にしているとミツバチが弱り、生き残れなくなる。ミツバチが弱ると受粉して作物を实らせる機能が働かなくなり、食糧難が予想される。多種多様な広葉樹、実のなる樹木を植え、豊かな里山を作っていくとミツバチにとっても、人間にとっても厳しい環境が待っている。 ・ ミツバチの講義の後、きみつのさんぼ道、養蜂の作業所を見学・観察した。 当事業所は北西向き、ヤマグワの生育、霧が出るという 3 条件を兼ね備えた環境が樹木生産に適していたことから工業地帯の環境緑化、都市緑化用樹木の生産拠点として開設した。 繁殖力が旺盛で移動禁止植物のヒオウギスイセン、ヤマグワ、マグノリア類、ユズリハのほかフ

	<p>オッサ・マグナ帯を境にして市原から北には見られないマメザクラを観察した。</p> <p>養蜂の現場では巣箱の中の女王蜂、ミツバチの様子をじっくり観察できた。集まったハチミツがミツバチの餌とハチミツの商品化に良いバランスで仕訳けられている。こうした採蜜が紀元前からの歴史を刻んでいることに驚きを感じた。</p> <p>・帰りのバスの車内では参加者の幾人かから感想を聞いた。</p> <p>「ミツバチの話が面白かった」</p> <p>「イベントの開催と実施方法が勉強になった」</p> <p>「蜜ろうのクレヨンを使う職場にいる。蜜ろうのことを知りたいと思っていた。」</p> <p>「山での体験初めてでした。とても良い汗をかきました」</p> <p>「ぽつんと一軒家に住みたいと思っている。今日はよい体験でした」</p> <p>「ミツバチの巣箱を見られて貴重な体験でした」</p>
配布資料一覧	<p>1 ちば里山1日体験会「鹿野山で下刈り体験とミツバチ養蜂見学」スケジュール</p> <p>2 ちば里山1日体験会「鹿野山で下刈り体験とミツバチ養蜂見学」資料</p> <p>FICの森・内山緑地建設(株)案内図</p> <p>内山緑地建設(株)「きみつのさんぽ道」の紹介</p> <p>バイオネスト資料(説明と作り方)</p> <p>鹿野山の歴史</p> <p>3 下刈り資料</p> <p>4 きみつのさんぽ道案内パンフレット 内山緑地建設(株)、東京グリーンサービス(株)</p>
広報	チラシ 3,000部印刷発送(6/24 発送済) 発送先 別紙のとおり。
申込	申込期間 7月1日～7月16日
課題と改善策	<p>里山の整備作業、楽しむ里山、利用する里山を一日で体験する企画でした。</p> <p>今回の参加者24名のうち19名は里山体験がないとのことだった。アンケートによると貴重な体験だったと高い評価も多かった一方、物足りなかった、時間が不足だったとのコメントも散見された。次回以降は時間的余裕を持ったスケジュールを考えてみたい。</p>

添付資料(写真)



主催者挨拶



FICの森にて



大鎌下刈り体験



傾斜のきつい斜面を下刈り



鎌研ぎの見本を示す



研ぎの音を聞く



バイオネストの杭打ち



小池講師

バイオネスト完成



鈴木講師



巣箱のミツバチたち



淡路花博記念庭園の前で